

2026（令和 8）年度事業計画書

公益財団法人 日本糖尿病財団

理事長 岩 本 安 彦

東京都文京区本郷 3 丁目 9 番 11 号 平原ビル 302

2026（令和 8）年度 事業計画書

（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日まで）

I 事業の概要

日本糖尿病財団が 2026 年度に実施する事業の概要は次のとおりである。

公 1 公益目的事業

1. 糖尿病に関する調査研究に対する助成

糖尿病および糖尿病合併症の成因、病態、診断ならびに治療に関する基礎的、臨床的研究に対して、財団独自の助成とともに企業との共同企画による研究助成を行う。

また、糖尿病に関する学術集会ならびに組織的な総合調査研究に対する助成を行う。

2. 糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動に対する助成

東日本ならびに西日本の各地区における糖尿病予防キャンペーン活動を助成し、糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発を推進する。

3. 糖尿病に関する国際交流活動に対する助成

糖尿病に関する国際交流活動への助成対象を検討する。

4. 糖尿病に関する印刷物の刊行

糖尿病研究の一助となり得る研究者向け専門誌の発行を行うとともに、糖尿病の予防・啓発用の一般向け小冊子等の出版物の改刷・発行を行う。

公 2 公益目的事業

「2 型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究」の実施

II 事業の内容

公 1 公益目的事業

1. 糖尿病に関する調査研究に対する助成

ア 糖尿病に関する幅広い研究で若手研究者を対象とした研究助成（別添 1）

イ 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)との共同企画による研究助成（別添 2）

ウ ノボノルディスクファーマ(株)との共同企画による研究助成（別添 3）

エ コストコホールセールジャパン(株)との共同企画による研究助成（別添 4）

オ サノフィ(株)との共同企画による研究助成（別添 5）

カ 糖尿病に関する学術集会ならびに組織的な総合調査研究に対する助成（別添 6・別添 7）

上記の研究助成は各々の採択予定件数に応じて、イ・ウとア・エ・オに分けて公募を行う。

2. 糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動に対する助成

糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発のための講演会を糖尿病予防キャンペーンとして、以下のとおり西日本地区および東日本地区でそれぞれ開催する予定である。

ア 西日本地区

時 期 2026 年 11 月 8 日（日）

場 所 倉敷市

世話人 川崎医科大学

糖尿病・代謝・内分泌内科学 教授 金藤 秀明

イ 東日本地区

時 期 2026 年 11 月 14 日（土）

場 所 札幌市

世話人 北海道大学病院

糖尿病・内分泌内科 准教授・診療科長 中村 昭伸

3. 糖尿病に関する国際交流活動に対する助成

国際交流活動の一環として、企業との共同企画によるシンポジウムや研修会を実施するための助成を行うことを検討する。

4. 糖尿病に関する印刷物の刊行

糖尿病研究者向けの専門雑誌「**Diabetes Journal**」の発行元として刊行を継続する。

また、一般向けの配付用として糖尿病予防・啓発用冊子の発行を行う。

その他、糖尿病に関する調査研究および予防・啓発活動について新たな助成対象や取組みを検討するとともに、当財団および当財団が行う事業についての認知度を高め、公益目的事業の推進のための活動を幅広く行う。

公 2 公益目的事業

「2 型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究」の実施

本研究は、厚生労働省による「糖尿病予防のための戦略研究」のうち、2006 年 6 月に開始された課題 3（J-DOIT3）を継承するものである。

本研究では、血糖、血圧、脂質に対して厳格な目標を設定した治療を行い、従来のガイドラインに沿った治療と比較して大血管障害の進展を 30%抑制できるかを検討する。

本研究は、全国 81 施設の 2 型糖尿病 2,542 人の被験者の登録により 2016 年 3 月まで試験治療が進められた結果、より厳格かつ統合的な治療を行なうことで、合併症の発症を更に抑えることができる可能性が示された。

一方、これまでの糖尿病の合併症抑制の介入研究においては、強化療法の有効性を評価するには介入終了後の長期追跡が不可欠であったことから、本研究においても、治療効果をより長期的に観察するため 2016 年 4 月から 5 年間の予定で介入終了後の追跡研究を実施した。

追跡研究では、75 施設で同意のとれた当初 1,730 人の被験者を対象として 1 年ごとに、身長・体重や薬物療法の実施状況等とともに、重要な危険因子である HbA1c・血圧・コレステロール値に加え、血液学検査、肝・腎機能検査等の定期調査項目、および主要又は副次評価項目として設定したイベント発生状況や、重症低血糖の発現等の探索的評価項目の調査も実施した。さらに血管合併症に加えて超高齢社会のわが国において糖尿病診療上の重要な課題となっている生命予後や健康寿命に影響を与える併存疾患等にも焦点を当てて、重要な副次評価項目に全死亡を設定するとともに、悪性新生物の発現、心不全による入院、認知機能や QOL 等を探索的評価項目に加えることとした。

追跡研究は当初 2021 年 6 月に終了する予定であったが、Steno-2 Study 等の先行研究においては治療効果のより長期的な検討がなされており、介入期間と同等かそれ以上の期間に亘ってその後の追跡がなされている。本研究も主解析における観察期間は中央値 8.5 年であったことから、これと同等の追跡期間を得るためには少なくとも 10 年間の追跡期間が必要と考えられ、追跡研究の実施期間を追跡 2 期としてさらに 5 年間延長することとした。

追跡 2 期では、72 施設における被験者の意思確認を経て、質を担保した形で長期に研究を継続するために定期調査項目を重要なものに絞るとともに、副次評価項目には主要心血管イベントの発現、探索的評価項目には認知・生活機能の評価や肺炎による入院を追加して継続調査を実施してきた。

当初予定の 5 年間の追跡期間終了時に加えて、計 10 年間の追跡期間終了時にも統計解析を行うことにより、厳格かつ統合的な治療の合併症に対する長期的な効果も明らかになると期待される。糖尿病診療の現場に与える影響も大きく、ひいては生命予後に直結し、高額な医療費を必要とする大血管合併症の予防につなげることができる。

2025 年度には、解析対象症例数 (1,692 例) を確定して追跡 1 期の解析を進めており、主解析の論文化について着手している。

研究全体は研究代表者が統括するが、当財団理事長はこれを補佐する役割を担い、当財団は研究基盤整備のため、施設でのモニタリングを実施し、研究継続のための施設内倫理審査や被験者の同意手続き、調査・提供データの適切性等についての検証を行うとともに、利益相反管理等を通じて本研究の進捗管理や倫理面でのサポートを行ってきた。

本追跡研究の実施期間は追跡 2 期として 2026 年 6 月末をもって終了となるが、7 月からは長期追跡研究（仮称）を新規の観察研究として開始する予定となっている。長期追跡研究においては、諸般の情勢等も考慮して研究主体を東京大学（東京大学医学部附属病院）とする新たな体制のもとで、J-DOIT3 の観察研究を実施していくこととなる。

かかる方針のもと当財団のサポート体制も 2026 年 6 月末にて終了する。7 月以降は、追跡 2 期としてのデータ固定から解析結果に至るまでの所要の残務業務をフォローするとともに、東京大学への引継ぎ業務を実施し、最終的には運営委員会において結果報告を受理することとなるが、これらの業務および各委員会の運営は 2026 年度内での完了を予定している。

日本糖尿病財団研究助成

2026 年度 応募要項

1 助成対象課題

糖尿病の基礎的ならびに臨床的問題に関する研究。

2 助成金交付対象者・応募資格

・応募締切日の年齢が 40 歳以下で、日本国内に在住する研究者。

・所属する施設長の推薦を受けていること。

但し、

・昨年度または本年度に当財団から助成を受けている方、および本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。

・昨年度または本年度、同一研究室から同様のテーマでの助成を受けている場合、応募は不可とする。

・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。

3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

4 研究助成金

1 件 50 万円とし、5 件程度とする。

5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本およびコピー 10 部を当財団に送付する。

6 応募締切日

2027 年 1 月 12 日 必着

7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

8 採否の通知

2027 年 2 月末日までに応募者および推薦者に採否を通知する。

9 研究助成金の交付

2027 年 3 月中に交付する。

10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用等、研究の推進に必要な費用とする。

11 研究期間

2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの 1 年間とする。

12 研究成果等の報告

2028 年 6 月末日までに、研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出(電子メールに添付)すること。期限までの提出がない場合は、今後の当財団の研究助成への応募を不可とすることがある。

なお、採択された場合には、当財団の HP にて公表(所属・氏名と研究課題)されることを承諾するとともに、本研究結果の公表に際しては「公益財団法人日本糖尿病財団(Japan Diabetes Foundation)」の助成による旨を明記すること。

また、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出すること。

13 応募用紙送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL:03-3815-2050 FAX:03-3815-4954 E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

(注)応募資格等の不明な点については、上記の日本糖尿病財団事務局までお問合せください。

第 13 回 日本糖尿病財団・ベーリンガーインゲルハイム研究助成

2026 年度 応募要項

1 助成対象課題

肥満に伴う糖尿病に関する基礎的または臨床的研究。

（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の製品に関する臨床研究は除く。）

2 助成金交付対象者・応募資格

・応募締切日の年齢が 45 歳以下で、日本国内に在住する研究者。

・所属する施設長の推薦を受けていること。

但し、

・昨年度に当財団から助成を受けている方、および本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。

・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。

3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

4 研究助成金

1 件 180～300 万円の範囲内とし、3～5 件とする。

5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本およびコピー 10 部を当財団に送付する。

6 応募締切日

2026 年 8 月 31 日 必着

7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

8 採否の通知

2026 年 10 月末日までに応募者および推薦者に採否を通知する。

9 研究助成金の交付

2026 年 11 月中に交付する。

10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用等、研究の推進に必要な費用とする。

11 研究期間

2026 年 12 月 1 日から 2027 年 11 月 30 日までの 1 年間とする。

12 研究成果等の報告

2028 年 2 月末日までに、研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出(電子メールに添付)すること。期限までの提出がない場合は、今後の当財団の研究助成への応募を不可とすることがある。

なお、当該研究助成プログラムは「公益財団法人日本糖尿病財団(Japan Diabetes Foundation)」と「日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(Nippon Boehringer Ingelheim Co.,Ltd.)」との共同企画であり、採択された場合には、各々の HP にて公表(所属・氏名と研究課題)されることを承諾するとともに、本研究結果の公表に際しては、この助成による旨を明記すること。

また、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出すること。

13 応募用紙送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL:03-3815-2050 FAX:03-3815-4954 E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

(注)応募資格等の不明な点については、上記の日本糖尿病財団事務局までお問合せください。

第 6 回 日本糖尿病財団・ノボノルディスクファーマ研究助成

2026 年度 応募要項

1 助成対象課題

糖尿病に関連する心血管疾患や腎症に関する研究。

(ノボノルディスクファーマ株式会社の製品に関する臨床研究は除く。)

2 助成金交付対象者・応募資格

- ・日本国内に在住する研究者であること。
- ・所属する施設長の推薦を受けていること。

但し、

- ・昨年度に当財団から助成を受けている方、および本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。
- ・昨年度、同一研究室から本研究助成による助成を受けている方がいる場合、応募は不可とする。
- ・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。

3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

4 研究助成金

1 件 100 万円以内とし、20 件程度とする。

5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本およびコピー 10 部を当財団に送付する。

6 応募締切日

2026 年 8 月 31 日 必着

7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

8 採否の通知

2026 年 10 月末日までに応募者および推薦者に採否を通知する。

9 研究助成金の交付

2026 年 11 月中に交付する。

10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用等、研究の推進に必要な費用とする。

11 研究期間

2026 年 12 月 1 日から 2027 年 11 月 30 日までの 1 年間とする。

12 研究成果等の報告

2028 年 2 月末日までに、研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出(電子メールに添付)すること。期限までの提出がない場合は、今後の当財団の研究助成への応募を不可とすることがある。

なお、当該研究助成プログラムは「公益財団法人日本糖尿病財団(Japan Diabetes Foundation)」と「ノボノルディスクファーマ株式会社(Novo Nordisk Pharma Ltd.)」との共同企画であり、採択された場合には各々の HP にて公表(所属・氏名と研究課題)されることを承諾するとともに、本研究結果の公表に際しては、この助成による旨を明記すること。

また、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出すること。

13 応募用紙送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL:03-3815-2050 FAX:03-3815-4954 E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

(注)応募資格等の不明な点については、上記の日本糖尿病財団事務局までお問合せください。

日本糖尿病財団・コストコ研究助成

2026 年度 応募要項

1 助成対象課題

小児または若年発症糖尿病(いずれも病型は問わない)に関する基礎的または臨床的研究。

2 助成金交付対象者・応募資格

- ・日本国内に在住する研究者であること。
- ・所属する責任者の推薦を受けていること。

但し、

- ・昨年度または本年度に当財団から助成を受けている方、および本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。
- ・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。

3 推薦者

推薦者は所属の責任者(施設長・教授・診療部長)とし 1 推薦者から 1 名の推薦とする。

4 研究助成金

1 件 100 万円以内とし、3 件以内とする。

5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本およびコピー 10 部を当財団に送付する。

6 応募締切日

2027 年 1 月 12 日 必着

7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

8 採否の通知

2027 年 2 月末日までに応募者および推薦者に採否を通知する。

9 研究助成金の交付

2027 年 3 月中旬に交付する。

10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用等、研究の推進に必要な費用とする。

11 研究期間

2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの 1 年間とする。

12 研究成果等の報告

2028 年 6 月末日までに、研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出(電子メールに添付)すること。期限までの提出がない場合は、今後の当財団の研究助成への応募を不可とすることがある。

なお当該研究助成プログラムは、「公益財団法人日本糖尿病財団(Japan Diabetes Foundation)」と「コストコホールセールジャパン株式会社(Costco Wholesale Japan Ltd.)」との共同企画であり、採択された場合には、当財団の HP に公表(所属・氏名と研究課題)されることを承諾するとともに、本研究結果の公表に際しては、この助成による旨を明記すること。

また、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出すること。

13 応募用紙送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL:03-3815-2050 FAX:03-3815-4954 E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

(注)応募資格等の不明な点については、上記の日本糖尿病財団事務局までお問合せください。

第 6 回 日本糖尿病財団・サノフィ研究助成

2026 年度 応募要項

1 助成対象課題

1 型糖尿病に関する基礎的または臨床的研究。

(薬剤を用いた介入研究、サノフィが資金提供している医師主導研究や共同研究は、対象外とする。)

2 助成金交付対象者・応募資格

- ・日本国内に在住する研究者であること。
- ・所属する施設長の推薦を受けていること。

但し、

- ・昨年度または本年度に当財団から助成を受けている方、および本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。
- ・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。

3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

4 研究助成金

1 件 180～300 万円の範囲内とし、3～5 件とする。

5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本およびコピー 10 部を当財団に送付する。

6 応募締切日

2027 年 1 月 12 日 必着

7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

8 採否の通知

2027 年 2 月末日までに応募者および推薦者に採否を通知する。

9 研究助成金の交付

2027 年 3 月中旬に交付する。

10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用等、研究の推進に必要な費用とする。

11 研究期間

2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの 1 年間とする。

12 研究成果等の報告

2028 年 6 月末日までに、研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出(電子メールに添付)すること。期限までの提出がない場合は、今後の当財団の研究助成への応募を不可とすることがある。

なお、当該研究助成プログラムは「公益財団法人日本糖尿病財団(Japan Diabetes Foundation)」と「サノフィ株式会社(Sanofi K.K.)」との共同企画であり、採択された場合には、当財団の HP にて公表(所属・氏名と研究課題)されることを承諾するとともに、本研究結果の公表に際しては、この助成による旨を明記すること。

また、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出すること。

13 応募用紙送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL:03-3815-2050 FAX:03-3815-4954 E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

(注)応募資格等の不明な点については、上記の日本糖尿病財団事務局までお問合せください。

日本糖尿病財団 学術研究集会助成
2026 年度 応募要項

- 1 助成対象学術集会
糖尿病に関する学術研究集会
(学会の地方会および分科会の類は対象外とする)
- 2 助成金交付対象者
当該学術集会の責任者
- 3 助成希望額
学術集会として必要とする額の範囲内で、当財団が決定する。
- 4 応募方法
所定の申請書により原本およびコピー10部を当財団に送付する。
- 5 応募締切日
(第1回)2026年8月31日 必着
(第2回)2027年1月12日 必着
- 6 選考方法
当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- 7 採否の通知
(第1回)2026年10月末日までに、応募者に採否を通知する。
(第2回)2027年2月末日までに、応募者に採否を通知する。
- 8 研究助成金の使途
研究助成金の交付対象となる経費は、学術集会に要する費用および運営費とする。
- 9 研究助成金の交付
採択通知後、責任者からの送金請求に基づき口座振込の方法により交付する。
- 10 研究成果等の報告
責任者は学術集会終了後3か月以内に事業報告書および収支報告書を当財団に提出する。
- 11 応募用紙請求・送付先および連絡先
〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-11 平原ビル302
公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局
TEL 03-3815-2050
FAX 03-3815-4954
E-mail: info@j-df.or.jp

日本糖尿病財団 総合調査研究助成

2026 年度 応募要項

- 1 助成対象調査研究
糖尿病の基礎的ならびに臨床的問題に関する調査研究
- 2 助成金交付対象者・応募資格
前項に掲げた研究に意欲的に従事する研究者機関・組織
- 3 研究助成金
組織として必要とする額の範囲内で、当財団が決定する。
- 4 応募方法
所定の用紙に記入し、原本およびコピー10部を当財団に送付する。
- 5 応募締切日
(第1回)2026年8月31日 必着
(第2回)2027年1月12日 必着
- 6 選考方法
当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- 7 採否の通知
(第1回)2026年10月末日までに、応募者に採否を通知する。
(第2回)2027年2月末日までに、応募者に採否を通知する。
- 8 研究助成金の使途
研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用およびその他研究の推進に必要な費用および運営費とする。
- 9 研究助成金の交付
採択通知後、責任者からの送金請求に基づき口座振込の方法により交付する。
- 10 研究成果等の報告
当該調査研究終了後(1年を超える場合は1年ごとの経過後)、3か月以内に研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出する。
また、本研究結果の公表に際しては「公益財団法人 日本糖尿病財団」(Japan Diabetes Foundation)の助成による旨を明記するとともに、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出する。
- 11 応募用紙請求・送付先および連絡先
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-11 平原ビル 302
公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局
TEL 03-3815-2050
FAX 03-3815-4954
E-mail: info@j-df.or.jp